

人・農地プラン（地域農業マスタープラン）は 地域農業の“未来の設計図”

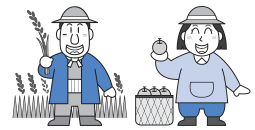


市では、厳しい農業経営の状況を踏まえて、地域の農業が抱える高齢化や後継者不足といった「人」の問題と、耕作放棄地の増加といった「農地」の問題について、皆さんと一緒に考えていきます。
皆さんの集落・地域でも、じっくり話し合っ、将来どんなふう地域農業を担っていくのかなどについて、考えてみませんか。

◇地域農業の将来をみんなで考える◇

「人・農地プラン」とは、集落・地域ごとの話し合いによって、次のことをまとめたもので、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」です。

- ① 今後の中心となる農家（個人・法人・営農組合）は誰か
 - ② 中心となる農家へどうやって農地を集めるか
 - ③ 中心となる農家とそれ以外の農家（兼業農家、自給的農家）を含めた地域農業のあり方をどうするのか
- ※ プランの作成は集落ごとでも、複数の集落にまたがっていても構いません。



～「人・農地プラン」を作成すると、次のようなメリットがあります～

1 新規就農者への支援（青年就農給付金（経営開始型））

自ら独立して農業を開始する人に対し、農業を始めて間もない時期（経営が安定するまで最長5年間）に給付金として、150万円（年間）を支援します。対象者は、次の要件をすべて満たす人です。

- ① 原則として45歳未満で独立・自営就農する人
- ② 「人・農地プラン」に位置づけられている人（見込みも可）
- ③ 就農後の所得（本給付金以外）が250万円未満の人



2 農地を貸し出す農家に対する支援（農地集積協力金）

「人・農地プラン」に位置づけられた農家に、農地を貸し出して、経営規模の拡大を後押しする農家を支援します。対象者は、農業者戸別所得補償制度の加入者で、農地利用集積円滑化団体へ10年以上白紙委任（農地を貸し付ける相手を指定しない委任契約）をする人です。

- ① 経営転換協力金
高齢などで農業をやめる場合など、耕作している農地のすべてを貸し出す農家に次のとおり、農地面積に応じて支援します。
- ② 分散錯圃解消協力金
農地の連担化に協力する人に、農地面積に応じて10a当たり5千円を支援します。

農地面積	金額
0.5ha以下	30万円/戸
0.5ha超 ～2.0ha以下	50万円/戸
2.0ha超	70万円/戸

3 農地を借りる農家（受け手）に対する支援（規模拡大加算）

農業者所得補償制度の加入者が、農地利用集積円滑化事業により、農地を面的集積（連担化）するため、新たに利用権設定（6年以上）をした面積に応じて、受け手に10a当たり2万円を支援します。

※ 「人・農地プラン」において中心経営体への農地の集積範囲が定められた場合には、規模拡大加算の面的集積要件（連担化）が緩和されます。

※ 「人・農地プラン」の変更

一旦プランを作成しても、随時見直すことができます。最初から完全なプランにする必要はありません。必要な部分から始めて、順次拡大していくこともできます。

詳しくはお問い合わせください。



いろいろな国の人を知ろう 災害に強いまちづくりを考える

ライトピアおおやまだ 人権フェスティバル

7月9日、「ライトピアおおやまだ人権フェスティバル」を開催しました。

今回は、「いろいろな国の人と共にくらすために～身近な人の声を聴こう～」をテーマに、NPO 法人伊賀の伝丸副代表の菊山順子さんをコーディネーターに迎えて行いました。

まず、在住外国人の現状として、伊賀市には38カ国、4591人の外国人が住んでいることや、来日した背景などを説明しました。その後、中国・ブラジル・ペルー・インドネシア出身のパネラーが、国の紹介や、来日の理由などを語りました。

日本に住んでいて困ったこととして言葉や国民性の違いが挙げられると、菊山さんは、視野を広げ一歩前に進んでお互いを知ることが大切だと話しました。

会場ではパネラーの出身国のお菓子が配られ、参加者は菊山さんやパネラーの話を中心に聞いていました。



まちかどTOPICS



大震災から学ぶ 多文化共生のまちづくり

7月1日、ハイトピア伊賀で「大震災から学ぶ多文化共生のまちづくり」についてのシンポジウムを開催しました。開会のあいさつ



のあと、公益財団法人

宮城県国際化協会企画事業課長の大村昌枝さんが「外国人住民と振り返る大震災～宮城からのメッセージ～」と題して基調講演を行いました。

大村さんは、「住民の中でそれぞれの国籍のキーパーソンを作り、その人に情報を伝えることですべての人に情報が行き渡るネットワークを築くことが大切。また、緊急時には多言語で情報を流すことが大切です。」と話しました。

パネルディスカッションでは、3月11日の震災直後は、情報が交錯し、災害現場から遠く離れている伊賀市在住の外国人でさえパニック状態になっていたことがあげられ、正しい情報提供ややさしい日本語を使うことが大切であることなどが話されていました。

この日は、ブラジルや中国など8カ国34人を含むおよそ150人が訪れ、災害に強い多文化共生のまちづくりについて考えました。

英語って楽しいね

親子英語サークル「アメリカンパイ」



7月10日、阿山保健福祉センターで親子英語サークル「アメリカンパイ」を開催しました。

これは、保育所や園に通っていない幼児を対象に、英語の遊びを通して親子の絆や異文化理解を深めることを目的

とした教室で、今年で8年目になります。

まずは講師の井上久美子さん、服部里恵さんと、英語で簡単なあいさつを練習したり、音楽に合わせて振りをつけて踊りました。

また、紙に描かれた星に、親子で色を塗り、切り抜いてお面を作ったり、願い事を書いた短冊を笹に飾ったりしました。最後には、「スターフェスティバル（七夕）」の星にちなんできらきら星を歌いました。



参加した11組の親子は、歌ったり踊ったりしながら、英語とふれるひとときを楽しんでいる様子でした。

空き地の
草引き

剪定

消毒・施肥

緑化事業

芝生貼り
及び
管理

空き地
及び畦の
草刈り



お庭のお手入れお任せ下さい!!

和・洋風どちらのお庭も経験豊かなスタッフがいい仕事でお応えします!!

元気で美しいお庭づくりを応援します。
お庭のことなら何でもご相談下さい。

お気軽に
お電話下さい。

☎0595-21-9823 見積無料

INAX 株式会社 INAX 総合サービス
上野事業部 伊賀市三田1030番地